

平成25年第1回

おいらせ町議会定例会

予算特別委員会

記録第2号

おいらせ町議会 平成25年予算特別委員会記録

おいらせ町議会 平成25年予算特別委員会記録第2号				
招集年月日	平成25年3月15日(金)			
招集の場所	おいらせ町役場本庁舎議場			
開 会	平成25年3月15日 午前10時02分 委員長宣告			
閉 会	平成25年3月15日 午後 2時04分 委員長宣告			
出席委員	氏 名		氏 名	
	高坂隆雄		田中正一	
	平野敏彦		檜山忠	
	日野口和子		川口弘治	
	袴田信男		沼端務	
	吉村敏文		澤頭好孝	
	立花國雄		柏崎利信	
	西館秀雄		松林義光	
	馬場正治		佐々木光雄	
欠席委員	なし			
会議事件説明のため出席した者の職氏名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	町 長	成田隆	副 町 長	西館芳信
	分庁サービス課長	日ヶ久保昇	総務課長	松林由範
	環境保健課長	小向道彦	企画課長	田中富栄
	介護福祉課長	澤上訓	財政課長	橋本章
	農林水産課長	松林泰之	税務課長	松林光弘
	商工観光課長	小向仁生	町民課長	柏崎正光
	教 育 長	袴田健志	教育委員会委員長	加藤正志
	地域整備課長	中村恵一	学務課長	堤克人
	会計管理者	川村淳一	生涯学習課長	柏崎尚生
	選挙管理委員会委員長	磯沼寛二	選挙管理委員会事務局長	松林由範
	スポーツ振興課長	北向勝	監査委員事務局長	袴田光雄
	監 査 委 員	名古屋誠一	農業委員会会長	中川原卓雄
	農業委員会事務局長	松林泰之	病院事務長	山崎悠治
総務課防災安全推進室長	中野重男			
職務のため出席した者の職氏名	事務局 長	袴田光雄	事務局 次 長	小向正志
	臨 時 職 員	坂井田五月		

事 件 題 目	1. 議案第27号 平成25年度おいらせ町一般会計予算について
	2. 議案第28号 平成25年度おいらせ町国民健康保険特別会計予算について
	3. 議案第29号 平成25年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計について
	4. 議案第30号 平成25年度おいらせ町公共下水道事業特別会計予算について
	5. 議案第31号 平成25年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計予算について
	6. 議案第32号 平成25年度おいらせ町介護保険特別会計予算について
	7. 議案第33号 平成25年度おいらせ町公共用地取得事業特別会計予算について
	8. 議案第34号 平成25年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計予算について
	9. 議案第35号 平成25年度おいらせ町病院事業会計予算について
	…………以下余白…………

発 言 者	発 言 者 の 要 旨
<p>事務局長 (袴田光雄君)</p>	<p>おはようございます。 事務局からお知らせいたします。 本日、佐々木議長が出席しておりますが、歯の治療中と申しますか、歯が抜け落ちてしまいましたものですから、思うように発音、発声ができないということ でございます。よって、予算特別委員会終了後に予定されております本会議にお きましては、佐々木議長にかわりまして、馬場議長が会議の進行を務めることにな りますので、ご了承いただきたいと思ひます。 よろしくお願ひいたします。(「馬場副議長」の声あり) 馬場副議長に進行をお願ひしたいと思ひます。 それでは、修礼を行いますので、ご起立願ひます。 礼。ご着席ください。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>おはようございます。 ただいまの出席委員数は15人です。 定足数に達しておりますので、直ちに予算特別委員会を開会いたします。 (開会時刻 午前10時02分)</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>なお、西館秀雄委員は、午前中、所用のため欠席との申し出がありましたので、 ご報告申し上げます。 会議に入る前に、町民課長から、昨日の保育料の件について、質問に対する答 弁がございますので、発言を許します。 町民課長。</p>
<p>町民課長 (柏崎正光君)</p>	<p>おはようございます。 委員長のお許しを得ましたので、昨日の予算特別委員会において3番平野敏彦 委員のご質問に対しまして、後日報告することとしておりました件につきまして 報告いたします。 保育料の質問において、兄弟が2人以上入所する場合、2人目の保護者負担を 現行の2分の1から3分の1にした場合の町の追加負担額でありますけれども、 本年3月1日現在で試算いたしますと、対象者は198人で、現行の2分の1の 場合は172万9,000円で、3分の1とした場合は230万6,000円と なり、差し引き57万7,000円が1カ月当たりの負担増となります。 1カ月当たりの負担増が57万7,000円となります。 年額では692万4,000円の負担増となります。</p>

柏崎委員長	<p>以上、報告いたします。692万4,000円。</p> <p>平野委員、よろしいですか。</p> <p>それでは、本委員会に付託されました議案第27号から第35号までの9議案のうち、14日までに議案第27号、平成25年度おいらせ町一般会計予算についての歳出、第9款までの審査が終わっております。</p> <p>よって、本日は第27号、平成25年度おいらせ町一般会計予算についての歳出、第10款からの審査を行うこととなります。</p> <p>これより議事に入ります。</p> <p>第10款、教育費から第13款、予備費までについての質疑を受けます。</p> <p>103ページから126ページでございます。</p> <p>松林委員。</p>
松林義光委員	<p>前の全員協議会でお伺いしましたけれども、予算をどこに計上しているかわかりません。</p> <p>小中学校の除雪対策を705万8,000円を予算計上して、今年度除雪を行うということになっております。</p> <p>詳しく、どこの小中学校の除雪を行うのか、具体的にお聞きしたいと思います。</p> <p>それから、105ページですけれども、教職員の住宅環境管理委託料9万2,000円見ておりますけれども、現在、教職員住宅に教員が何名住んでいるのか。住んでいる場所はどこなのか、この2点をお伺いいたします。</p>
柏崎委員長	<p>学務課長。</p>
学務課長 (堤 克人君)	<p>ただいまのご質問にお答えいたします。</p> <p>まず、除雪の関係でございますが、予算につきましては、107ページに小学校費の学校管理費でございますが、その中の車借上料でございます。これは中学校費のほうもそうなんです、ここに予算計上しております。</p> <p>リースの除雪機、3トン未満のショベルというんですか、バケットのついた機械をリースで配置いたしまして、降雪の際には各学校に配属しております用務員の方々でもって除雪を行っていただくというふうなことで考えております。</p> <p>ただ、用務員、除雪をするに当たりましては、一旦講習を受けなければならないということで、これにつきましては、新年度の委託の際にその業務もお願いするというので、そういう講習を受けた方の配属というふうな方になろうかと思っております。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>基本的には、講習を受ければよいということですので、今の配属の方々が変わるということはないかと思いますが。</p> <p>それから、2点目の教職員住宅でございますが、下田小学校のところは2カ所あるんですが、ここにつきまして、先生方が入っております。それから、木ノ下中学校にも甲洋小の教頭先生が入居をされております。</p> <p>先生方は一応この3名でございますが、昨年の途中までは震災で避難された家族も一時入居をされておりました。</p> <p>以上でございます。</p> <p>松林委員。</p>
<p>松林義光委員</p>	<p>リースで借り入れて、各学校の用務員で雪が降った場合は対応するということですが、例えば、木ノ下小学校しか私はわかりませんが、古間木山大通り、歩道が通学路になっていると思います。それは、住吉町、緑ヶ丘で雪が降ると、早朝から除雪を行っております。小学校周辺は、青葉町内会が行っております。ですから、具体的にいうのは、現在行っている町内会は、今度はやらなくてもいいということなのか、これは除雪を行っていない学校周辺を対象にしたのをリースで借り上げて、用務員が行うということなのか、その辺をもう少しわかりやすく教えてもらいたいと思います。</p> <p>それから、この教職員の管理は9万2,000円、額は大したことありませんけれども、どなたにこれを支払って、どのような管理をしているのかお伺いいたします。</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>学務課長 (堤 克人君)</p>	<p>学務課長。</p> <p>除雪の件、ちょっと説明不足でございました。</p> <p>これにつきましては、学校敷地内の除雪ということで考えております。これまで道路の除雪を委託された業者さんが回ってやってくれていたところなんですが、なかなか重機も少なくなっている、そういう受託業者さんも少なくなっているということで、学校の除雪のほうもなかなかままならないというふうなことから、今回、こういうふうなことで対処をしようというふうなことでございます。あくまでも学校敷地内の除雪を想定しているところでございます。</p> <p>例えば、朝、子供たちが通学してくる際の通学通路とか、あとは給食関係の車両が、食材とかそういう運んでくる車が通れるように、とりあえず通路を確保するというふうなことで、そういう場合に除雪作業をしていただくということで配</p>

	<p>備するものでございます。</p> <p>それから、管理のほうにつきましては、これは草刈り管理で、シルバーとかそういうところをお願いするというふうなことで予定しているものでございます。（「了解」の声あり）</p>
柏崎委員長	<p>ほかに。</p> <p>馬場委員。</p>
馬場正治委員	<p>108ページ、教育振興費の7節、賃金のところですけども、賃金（日々雇用）945万円と計上ありますけれども、この内容をご説明ください。</p>
柏崎委員長	<p>学務課長。</p>
学務課長 (堤 克人君)	<p>これにつきましては、特別支援員です。特別支援学級に入っている子供さんとかあるいはちょっと学力の劣っている子供とか、中にはちょっと想定外の行動をとるような子供もおりますので、そういった子供たちを介助しながら、教育の支援をしていく方々の賃金でございます。</p> <p>小中学校合わせて、新年度は13人を予定しているところでございます。</p> <p>以上です。</p>
柏崎委員長	<p>馬場委員。</p>
馬場正治委員	<p>わかりました。わかりましたけれども、であれば、そのとおり特別支援員報酬とか、そういうふうに書けばわかりやすいんですけども、106ページの教育総務費の20節の扶助費に、特別支援教育就学奨励費123万6,000円とか、こういうふうに具体的に書いている項目もあるんですよね。</p> <p>なおかつ、教育相談員の報酬は教育相談員ときちっと具体的な名前が書いてあるんですね。なぜこういうふうに賃金（日々雇用）というふうに書いているのか。これは日々日給で、きょう来てくれとかと頼むという意味なのか、この支援員は年度を通じて雇用するものなのか、こういうふうに表示する理由を教えてください。</p>
柏崎委員長	<p>学務課長。</p>
学務課長	<p>形態としましては、ほぼ毎日来ていただいているわけなんですけど、6カ月単位</p>

(堤 克人君)	<p>の雇用ということで、今まで勤務いただいております。</p> <p>フルタイムというわけではなくて、その学校の要望に応じて、例えば、午前中の勤務の場合もございますし、あるいはその学校の1日終わるまでの勤務の場合もありますので、なかなか報酬という定額で定めるものが難しいのかなというふうなことで、今日までこういう形態で来ているものと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
柏崎委員長	馬場委員。
馬場正治委員	<p>そうしますと、これまでも特別支援員の給料については、日々雇用という項目で予算計上されていたということですか。</p> <p>日々雇用というのは、何か日払いのようなイメージを受けるんですけども、これは改善するほうがいいのではないかと私は思います。</p> <p>ここの教育振興費となっているんですけども、この教育の分野では、教育振興協議会なる組織もあるようで、その予算も若干計上されているようですけども、ちょっと飛びますけれども、教育振興協議会の存在と役割についても教えていただければと思います。</p>
柏崎委員長	教育長。
教育長 (袴田健志君)	<p>おっしゃるとおりです。日々雇用だと何の日々雇用か、予算執行の説明としては不相当だと。特別教育支援員用のということを明確に出すようにしたいと思います。</p> <p>振興会については課長のほうから。以上でございます。</p>
柏崎委員長	学務課長。
学務課長 (堤 克人君)	<p>教育振興協議会でございますが、これにつきましては、町内の学校長さん方で構成しておりまして、その中で、専門委員会、例えば学校保健会とかあるいは幼・保・小の連携事業を進めていくとか、今はなくなりましたけれども、以前やっていた陸上記録会ですね、小学校の。ああいったこともこの協議会の中でやられてきたものでございます。</p> <p>以上です。</p>
柏崎委員長	ほかに質疑ございませんか。

<p>檜山 忠委員</p>	<p>檜山委員。</p> <p>これはどの部分に当たるのかちょっとわからないところがありますが、春になると、小学校は新入学児童が入ってくる。中学校になると6年生が中学校へというふうなことでの交通安全に対する指導についてちょっと聞きたいんですけども、小中学校については、いろいろ補講的なそれでの指導になると思うんですが、中学校は自転車通学が許されることになりますけれども、その自転車についての整備がどのように行われているかということが1点ですね。</p> <p>それから、もう1点は、アレルギーのことなんですけど、124ページに当たる給食のことになると思うんですが、アレルギーについて、マスコミでも大々的に取り上げられて報道されていますけれども、その対策がどのように行われているか。その2点をお聞きしたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>教育長。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>お答えをいたします。</p> <p>まず、中学生の自転車通学による安全対策ということでございますけれども、一般的な安全指導については、これはどこの中学校も4月当初に十分一般的な安全指導を行いますけど、自転車整備についても、これもどこの中高でもですけども、ほぼ義務づけられておまして、自転車の安全点検というのを業者にやらせるという整備はやっております。そういう意味で、走行及び自転車の機能、両面からの安全指導は行っているということでございます。</p> <p>それから、食アレルギーの対策はどうなっているかということでございますけれども、ご承知のように、昨年の秋に埼玉でしたでしょうか。小学校5年生の女の子が食アレルギー、特別な強いアレルギーが出る症状なんですけれども、学校給食をとった上で亡くなられたという事案があって、当町でもそれを受けてというわけではないんですけども、当町でも小中学校にそれぞれ食アレルギーを持つ児童生徒はおまして、全て学校で対応しております。詳しく申し上げますと何ですけども、必ず管理栄養表というものをそういう保護者を書いてもらって出させて、その上で養護教諭を中心にして、保護者と面談の上でこの食、例えば、卵、牛乳あるいはそば粉類等々ありますけれども、それらについて詳細に面談をした上で、例えば、卵が入っている食事については、その子については除去して、除食分は、もしご家庭がよければ補食を持ってこさせるとか、メニューによってそういうふうな対応をとらせております。</p>

	<p>多少、学校によって対応差があるとまずいというので、これはつい先般ですけれども、栄養教諭を集めて、そしてまたこれも一番最近の今月の校長会の席でも、改めて新年度から新入児も入ってくるのだし、食アレルギーの対応は抜かりなくということ強く指導をいたしております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>檜山委員。</p>
<p>檜山 忠委員</p>	<p>まず最初に、自転車のことなんですけれども、自転車に各学校のステッカーが貼られてあるのかどうかですね。それをなぜ質問をするかという、実は、春になってくると、放置自転車が出てくるというふうなことで、先般といっても二、三日前のことなんです、放置自転車が2台ばかりあって、普通だと1カ月ぐらいそれはもう傍観しているというか、放置して見ているんですけれども、たまたまこの間のは10日ぐらい前からの自転車だったんですが、それには学校のステッカーが貼ってあったんですね。それが野辺地高校のステッカーが押しあつて、中下田の団地に置いてあつたとなると、これはもう放置自転車とすぐ見分けがつくので、警察のほうに連絡をして調べてもらったと。そして、きのうあたり持っていったみたいなんですけれども、そういうふうなことで、自転車に各学校のステッカーをちゃんと貼っていただきたいと、そういうふうに思うわけです。</p> <p>木ノ下、百中、下中というふうなことでですね。できれば、目立つ色の蛍光色のものでできたやつで貼っていただくと、もし交通違反したりなんかしてもすぐ見分けが、どこの学校だというのが見分けがつくし、乗っている本人もそれらが目立つのがついていると、余り無理なことはしないだろうと、そういうふうにも思うので、これはもしかすれば白地のそれで学校のを貼っている可能性もあると思いますけれども、そこら辺をしっかりとやっていただきたいと思います。自転車のことですね。</p> <p>それで、アレルギーのことなんですけれども、この間のあれは東京の富士見台小学校というふうに、放送ではNHKの放送を見ていてそういうふうな放送がなっていましたけれども、それで、結果的にはその原因のなぜ死亡まで至ったかというふうなことのそれは、危機管理能力が失われていたというふうな結論が出ています。栄養士、先生、養護教員のそれぞれの危機管理能力が失われていたというふうなことです、やはり、徹底してアレルギーに対する対策をやりたいと、そういうふうに思います。</p> <p>国の食育とアレルギーの関係が、何か非常に食育というふうなことになったので、学校で前は子供たちに家から副食を持ってきてもらうとか、そういうふうな</p>

	<p>ことをしていたやつが、もう食育というふうなことになったので、学校で皆全て給食を出すというふうなことから、アレルギーの子供たちにもしっかり対応しなければならぬというようなことから、そういうふうな事故に至った経緯というふうなことでの話がずっとなっていましたけれども、ということなので、しっかりやっていたきたいというふうなことです。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>教育長。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>予算関連でこういうお答えなどしていいかどうかですが、お許しが得られましたので、今の亡くなられた子供の事案の記憶違い、訂正ありがとうございました。</p> <p>本当に個別、非常にそれぞれ事情が異なるものですから、学校としてもこれは非常に対応が難しいと。亡くなられた事案の例ですと、除食、除くのはわかっていて、それように最初与えたけれども、おかわりのときに一般食と混ぜておかわりをあげてしまったというのがそのときの例でございます。</p> <p>そういうようなことで、担任あるいは養護教諭あたりが気を使っていたにしてもそういうことが生じかねないわけで、非常に気を使います。</p> <p>それで、私としては、校長たちを通して伝えているのは、これは学校の対応だけでは非常に難しい場面もあるので、基本的には保護者が十分に主体的に食についての管理をする、あるいは学校に詳細に届けを出させると。保護者を主体にしたいという考え方で面談対応するように、私はそのように伝えております。</p> <p>いずれにしろ、万が一の事故のないように努めてまいりたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>学務課長。</p>
<p>学務課長 (堤 克人君)</p>	<p>ステッカーの件でございますが、今改めて子供たちが乗っている自転車についてステッカーが貼られているかどうか、ちょっと私は確認できておりません。たしか前は貼っているのを見た記憶がございまして、ただ、それが今も続いているのかどうかまではちょっと私は確認できておりません。</p> <p>あるのであれば、そのまま徹底してもらおうということで、改めて学校にお願い、指示を出したいと思えます。ただ、もうそれがなくなっているということであれば、改めてそれをつくらなければならないということで、予算にもかかわってくるものですから、その点につきましては、改めてその確認をいたしまして、場合によってはまたどこかの場面で予算をお願いするというふうなことになろうかと思えます。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>以上です。</p>
<p>平野敏彦委員</p>	<p>次に、平野委員。</p> <p>それでは、103ページの事務局費のところにあります外国語指導助手報酬（2人分）がありますが、総務費の中で、2款2項1目1節、報酬で国際交流員が計上されてありますが、私は幼・保・小連携をして教育に当たるべきというふうな、これを見ますと、通訳も兼ねて、先般の説明ですと、あとは保育園、幼稚園の英語の指導に当たっているというふうなことですが、私は予算計上の仕方とすれば、この事務経費、教育委員会のほうにおいて小学校、それから保育園、幼稚園、そういうふうな部分との情報交換をしながら活用したほうが、いろんな意味で教育効果が上がるのではないかというふうに感じております。</p> <p>財源充当は、そういうふうな意味でここに充当すればいいわけですから、この配置がえについてお伺いをしたいと思います。</p> <p>それから、もう1点です。</p> <p>保健体育費のところですけども、災害対策に絡んで、123ページですね。いちよう公園の体育館が避難施設になっているというふうなことで、これについては防災対策安全室長にはその対策用のこれから備えをするというふうな答弁をいただきましたけれども、これらについては、対策室との連携を密にして、いちよう公園の体育館の冬場対策とかいろんな形での整備をしていただきたいというふうに思います。</p> <p>あと、先ほど、4番檜山委員も質問しましたがけれども、私はこのアレルギー対策については、これから給食センター建設にも非常に大きな課題ではないかと思えます。特に、今の食の給食で見ますと、小麦粉とか卵とか、そういうふうなものに対するアレルギーの児童生徒が、結構これからも出てくると。</p> <p>ちなみに、大阪府の給食センターの運営を見ますと、例えば、材料費が高騰して高くなっても、そのアレルギー対策については、栄養士、栄養教員が対策に万全を期すためには、例えば、小麦粉を使わないで米粉を使う。それから、卵にかわる食材を使う。いろんな形で大阪府はアレルギーの発生になる食材を使わない。そのためには給食費の単価が上がっているというふうなことでテレビで見ましたけれども、やはり、それが私は行政の取り組み方ではないかと思えます。</p> <p>この3点について、アレルギーについては教師が話をしていますし、今の保護者との連携、そういうふうな密で、今の現状ではそれぐらいしか対応できないのかなと思えますけれども、将来を見越した給食センター建設についても、そういうふうな意味で考えがあればお伺いしたいと思います。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>教育長。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>私からは2点お答えを申し上げます。</p> <p>前後しますけれども、まず最後の食アレルギーの問題、大阪に限らず、食アレルギーを持つ子供に個別に対応するというのは、例えば、八戸市は今給食センター3カ所のうちの1カ所で行っておりますが、そこは、報道だけの情報ですけれども、そういうアレルギーを持つ子供たち用の調理室も別途につくって、そして調理員とか栄養士も配置しながら対応をするという報道をしております。</p> <p>そうなりますと、非常に人件費の問題であるとか、食材も多少違いますし、いろいろこれは財政面でも課題はあるのかなという気はしております。</p> <p>それから、来週行く予定なんですけれども、三沢市も今年度から給食センターを新しくして、あそこは給食センターのみならず食の加工施設なども併置して運営しているようですが、あわせて課長ともども視察することにしておりますが、やはり、そういう施設を備えているのかどうか。それも十分見させていただいた上で、2年後に予定されている当町の給食センターの建設についてどこまでやれるのかと。もちろん財政との相談にもなりますけれども、どこまでやれるのかということは今後勉強しながら検討していきたいと思っておりますが、今のところは各校の保護者との密なる対応でということではしております。</p> <p>それから、幼・保・小連携の外国語教育をするならば配置がえをということなんですけど、恐れ入ります。質問の趣旨は、配置、つまり、ALTと国際交流員と一緒に置くべきという、そういう趣旨でございますか。</p> <p>よくわかりますけれども、実は、昨年度まではALT3人体制のときの1人は、社会教育、つまり英会話教室であるとか、そちらのほうにも出しておったんですが、指導室を設置することにしていただいたものですから、できるだけお金をかけないと。つまり、六戸と組んできたときの負担金以上には絶対しないという前提がありましたので、今は2人体制にしております。ALTは1人、3人から2人にと。</p> <p>となると、2人は小中8校でかつかつでございます。したがって、やはり今のところは、幼・保については管轄が、幼・保の場合はまた町民課といいますか、管轄する課も所管の課も違いますので、一緒に置いて派遣するというのはちょっと難しいのかなと思っておりますが、検討には値すると思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>分庁サービス課長。</p>

<p>分庁サービス課長 (日ヶ久保 昇君)</p>	<p>いちよう公園体育館の暖房の件でございます。冬場の現状等考えますと、確かに委員おっしゃるとおりかと思えます。</p> <p>今後、町の実施計画のヒアリングとかありますので、その中で協議検討していきたいと思えます。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>平野委員。</p>
<p>平野敏彦委員</p>	<p>答弁については理解をいたしました。ただ、今、教育長が言ったALTについては2名でもう目いっぱいだというふうなことです。私は国際交流員についても、やはり、小学校に入る児童が少なくなっているわけですよ。そういうふうな意味では、学校ごとの交流員が幼・保を回って、小学校へ入る予定される子供の情報をその小学校のほうに提供したり、いろんな形で孤立した活動ではなくて、持っている情報を上げたりなんかする、それによって子供のいろんな意味での個性がスムーズに発揮できるのではないかというふうに思うわけで、確かに所管が違うわけですが、やはり、そこは横断的な形で、児童生徒の、それから幼稚園、保育園の子供の能力をいかに伸ばすかというふうな視点に立って、ぜひ検討していただきたいというふうに思えます。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>答弁を求めます。</p> <p>教育長。</p>
<p>教育長 (袴田健志君)</p>	<p>英語教育のみならず、幼・保及び小との交流あるいは情報交換というご趣旨でございます。非常によくわかります。幼・保及び小との交流は、一般の教諭たちを通じてもちろんやっておりますけれども、英語のそういう場面も使えるのであれば使いたいということでもあります。</p> <p>大変参考になりました。ありがとうございます。</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、第10款から第13款までについての質疑を終わります。</p> <p>以上で、歳出についての質疑を終わります。</p> <p>次に、第2表、地方債についての質疑を行います。</p>

<p>平野敏彦委員</p>	<p>議案書の141ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p>第2表、地方債の質疑に入る前に、事項別明細書の給与費明細書並びに継続費に関する調書、債務負担に関する調書、地方債に関する調書、これについて質疑を受けます。</p> <p>平野委員。</p> <p>私は、128ページ、給与費に係る明細書の件について質問いたします。128ページの一般職の総括で、職員数が137人、対前年比2名減となっております。給与費を見ますと5,084万8,000円の減となっております。これについては、多分、管理職の退職に伴う人事の入れかえによって減るというふうに感じますけれども、それにしても高額の金額になるなというふうな、この予算積算が適当になされたのか、本当にちょっと見込みが正しかったのかなというふうなのと、この人数のところで、次の130ページのウのところに、級別職員数が書いてあります。1級から6級まで、平成25年1月1日現在で125名、平成24年1月1日現在で125名と書いてありますが、この128の本年度の137人と125人との数値の差があるわけですが、この差について説明をいただきたいと思えます。</p> <p>それから、もう1点。</p> <p>135ページの継続費であります。総務費の町勢要覧作成費が245万5,000円、平成24年、平成25年というふうな形であります。この継続費の設定の仕方について、ぜひ教えていただきたいと思えます。</p> <p>本来、この特定財源が充当されるものについてはどうかと私は理解しているんですが、全く一般財源だけでこの継続費を設定するというふうなものであれば、別に年度別に予算計上しても差し支えないのではないかとというふうに私は解釈するんですが、この2点について答弁をいただきます。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>総務課長。</p>
<p>総務課長 (松林由範君)</p>	<p>平野委員にお答えをいたします。</p> <p>128ページの人数、2名減に対しての給与費の減額、私どもも平野委員ご指摘のように、管理職が減って、新採用がそれより少ないということで入れかわった形で減額になっているという理解をしております。</p> <p>詳細に中身、1人ずつ確認はしておりませんので、そのような理解でございましたので、それによる要因だというふうに認識をしております。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>以上です。</p>
<p>財政課長 (橋本 章君)</p>	<p>財政課長。</p> <p>平野委員のご質問にお答えします。</p> <p>最初に、130ページの級別職員数と、その前の総括の職員数についてのご質問ではありますが、総括表では、本年度の職員数137名と記載してあります。これには、教育長が含まれておりますので、実質一般職136名になろうかと思えます。</p> <p>この136を念頭に置きまして、130ページをごらんいただければ、級別職員数、これは一般職の一般会計における職員数でございまして、その中には、給料表が行政職の給料表から始まりまして、技能職の給料表が適用される職員までがございます。ですから、例えば、行政職が125名ですが、医療職が1名、医療職(3)表が6名、同じく教育職2名、技能職2名と、これを合計しますと、136となります。ということで、平成25年度の予算を135名の一般職の職員の給与を積算してございます。</p> <p>次に、135ページの継続費につきましては、この設定してあります町勢要覧作成事業、これは昨年度、平成24年度に設定しているものでございまして、この事業が2カ年にわたる事業であるということから、設定している事業でございます。</p> <p>一般的には、会計は単年度の決算になるわけですが、例外的に認められているものの一つに継続費あるいは繰越明許費等々があるわけですが、その一つとして、2カ年にわたる事業であるということから、単年度ごとの事業費を定めまして、平成24年、平成25年度の2カ年の事業としてあるということでございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>平野委員。</p>
<p>平野敏彦委員</p>	<p>よく理解をいたしました。</p> <p>135名と言ったけれども、136名でないかと。教育長1名、総括では136名で、こっこのほうの下のほうも136名で、135名とさっき言ったんだけど、ちょっとこれは136名ではないかなというふうに聞きました。</p> <p>それから、継続費については、昨年、設定しているというふうなことで、私が疑問に思ったのは、財源の充当のほとんど一般財源なわけですから、その年度年</p>

	<p>度でも対応してもよかったのではないかなど。</p> <p>例えば、国・県支出金とか、そういうふうなものが充当されるのであれば、単年度で充当されたものを次にというふうなことも考えたものですから、そういうふうなので設定しているというふうなのであれば了解しました。</p>
柏崎委員長	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p>沼端委員。</p>
沼端 務委員	<p>ちょっと今ので1点だけ確認したいと思います。</p> <p>平成24年度退職、職員の方で退職者何名、それと、平成25年度新年度における採用者何名というものをお知らせをお願いいたします。</p>
柏崎委員長	<p>総務課長。</p>
総務課長 (松林由範君)	<p>平成24年度につきましては、定年・勸奨を含めて3月末退職者は6名、中途での退職者が2名で、計8名でございます。</p> <p>新年度の採用予定者は6名ということになっております。</p> <p>以上です。</p>
柏崎委員長	<p>沼端委員。</p>
沼端 務委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>まず、今年度を初め、勸奨・定年退職含めて8名、新年度6名ということで、たしか合併当初、新町計画案の中で職員5割だか6割、採用の中での新町職員の方の計画があったなという記憶しております。その中で、今回、7割、8割ぐらいの採用になった理由づけをまた一つ。</p> <p>あと、その新町計画において、職員数のあれが年間になって、最後はどこまでというものの確認です。何名ぐらいが適任だったかなというものを再度確認したいと思います。</p>
柏崎委員長	<p>総務課長。</p>
総務課長 (松林由範君)	<p>7割……、6割でしたか、そういう合併時の申し合わせというか、一つの目標があったというのは確かでございますが、それにつきましては、毎年度の採用試験の結果等も踏まえまして、もちろん職員の退職等による補充状況あるいは業務</p>

	<p>の繁閑に応じたものとかも考慮しながら決めているわけですので、基本的には、現在までは採用した職員、退職した職員の何割か減という形で維持してきたと思っております。</p> <p>トータルでも、その6割程度の補充ということにはなってきていると思っておりますが、ご指摘のように、いつまでも減らしていけないものではないという認識も当然しております。</p> <p>詳しくは、ただいま定員の適正化計画というものを今検討中でございますので、その中で計画という形ではまとめる予定でおりますが、現在の感じから行きますと、もうほぼ減らすのは限界に近づいてきているかなということで考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
柏崎委員長	沼端委員。
沼端 務委員	<p>まず、合併から丸7年ですか。いろいろ職員の方々もいろいろな部分では幅も広がり、範囲も広がりという部分では、多種多様の職業にもなってきているのかなという部分、わかります。</p> <p>それと、その時々で定年にかかわらず勸奨という部分では、いろいろ年代もさまざま退職していく方もあろうかと思えます。その中で、6割採用から外れるときもあるのかなというのは理解いたします。</p> <p>その中でも、先ほど言ったように、医療とかそういうのは別として、従来あった技能職とかも大分今はなく一般職が中心になってきているが、しかし、いろいろな自治の行政の中では、机だけの仕事だけというわけにもいなくなっているのも事実だと思っておりますので、そういう部分でも、町長初め、副町長には、職員の持てる力を発揮できるような教育というか、そのために発揮させるような工夫をしてもらいたいと、要望で終わります。</p>
柏崎委員長 (委員席)	ほかに質疑ございませんか。 **なしの声**
柏崎委員長 (委員席)	なしと認め、給与費明細書から地方債に関する調書までの質疑を終わります。 次に、第2表、地方債についての質疑を行います。 議案書の141ページです。 質疑ございませんか。 **なしの声**
柏崎委員長	なしと認め、第2表についての質疑を終わります。

<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>以上で、本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>ここで、暫時休憩をいたします。11時10分まで。</p> <p style="text-align: right;">(休憩 午前10時56分)</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>休憩を取り消し、会議を再開いたします。</p> <p style="text-align: right;">(再開 午前11時10分)</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第28号、平成25年度おいらせ町国民健康保険特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>環境保健課長。</p>
<p>環境保健課長 (小向道彦君)</p>	<p>それでは、議案第28号についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、歳入歳出それぞれ29億630万円と定めるもので、前年度比2.5%の増となっております。</p> <p>歳入歳出の主なものについてご説明申し上げますので、事項別明細書の11ページをごらんください。</p> <p>まず、歳出についてご説明申し上げます。</p> <p>1款、総務費の主なものは、1項1目、一般管理費の職員人件費であります。</p> <p>次に、14ページをごらんください。</p> <p>2款、給付費の主なものは、1項、療養諸費と、15ページの2項、高額療養費であります。1項、療養諸費は16億2,347万円の計上で、前年度比4.2%の増となっており、2項、高額療養費は1億9,285万5,000円の計上であります。</p> <p>次に、17ページをごらんください。</p> <p>3款、後期高齢者支援金等は4億785万4,000円の計上で、前年度比1.</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>2%の増となっております。</p> <p>次に、19ページをごらんください。</p> <p>6款、介護納付金は1億9,485万5,000円の計上で、前年度比1.5%の増となっております。</p> <p>次に、7款、共同事業拠出金は3億7,201万9,000円の計上であります。これは30万円以上の保険給付費を対象とする国保連合会への拠出金であります。</p> <p>次に、20ページをごらんください。</p> <p>8款、保健事業費の主なものは、1項1目、特定健康診査等事業費の特定健康診査委託料と、2項1目、保健衛生普及費の人間ドック委託料であります。</p> <p>続きまして、歳入についてご説明申し上げますので、3ページ及び4ページをごらんください。</p> <p>1款1項、国民健康保険税は7億5,003万4,000円の計上で、前年度比3.5%の減となっております。</p> <p>次に、3款、国庫支出金は7億7,057万4,000円の計上であります。</p> <p>次に、6ページをごらんください。</p> <p>4款、療養給付費等交付金は1億3,492万8,000円の計上であります。これは、退職被保険者の給付費等に対する社会保険診療報酬支払い基金からの交付金であります。</p> <p>次に、5款、前期高齢者交付金は4億6,128万9,000円の計上であります。これは65歳から74歳までの前期高齢者の医療費に対する支払い基金からの交付金であります。</p> <p>次に、6款、県支出金は7ページにわたりますが1億5,243万8,000円の計上であります。</p> <p>次に、7款、共同事業交付金は3億5,875万円の計上であります。これは30万円以上の保険給付費に対する国保連合会からの交付金であります。</p> <p>次に、8ページをごらんください。</p> <p>9款1項、一般会計繰入金は2億7,128万6,000円の計上であります。これは、職員給与費等繰入金、保健基盤安定繰入金などであります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>当局の説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入全款についての質疑を行います。</p>
--------------	---

<p>平野敏彦委員</p>	<p>質疑ございませんか。</p> <p>3ページから10ページでございます。</p> <p>平野委員。</p> <p>3ページの歳入、1目、一般被保険者国民健康保険税の2節の医療費給付滞納繰越分4,812万9,000円見込んでおります。これについては、決算でも相当な額だなと記憶しておりますけれども、今年度の平成24年度で滞納になる総額を見込みとして教えていただければと思います。</p> <p>それから、合わせてこの徴収対策については、税務課長から一般会計のほうでもその対応について説明がありましたが、税務課長については、本来、町民税が主体なわけですけれども、それでもいろんな形でこの保険税、多用途にわたって徴収対策を講じているわけで、非常にこの税金を徴収した際の充当、例えば、国保、町県民税、いろんな形で滞納している人は、15万円ぐらい滞納がある人が3万円しか納められないといった場合は、どういうふうな形で、どっちのほうに優先して徴収するのか。私が税務課長だから町民税のほうへまず全部入れてしまえとかというふうな思いがあるのか、その辺もぜひお聞かせをいただきたいと思っております。</p> <p>それと、あと私が町民課のほうへ行って、おいらせ町の転入、転出の状況を町民課長から資料をいただきました。そうすると、1月から12月までで、その転入が1,021人、転出が1,007人あります。この数は、私は県内でも非常に多いほうではないかと。町村にあってはこんなに転入出があるというふうな町村もないのではないかとこのように感じますけれども、これに伴って、例えば、転入してくる人は前住地で保険税を滞納してあったとか、そういうふうな情報が確認できるのかどうか。それから、おいらせ町から転出する人についても、この人、おいらせ町のこれこれの税金が滞納がありますよというふうな情報提供がなされているのか。この点についてお聞きをしたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>税務課長。</p>
<p>税務課長 (松林光弘君)</p>	<p>それでは、お答えします。</p> <p>平成24年度末というより、平成25年度当初の滞納額の見込みです。3億7,663万円の見込みとなっております。</p> <p>それから、具体的な例を挙げられましたが、15万円滞納があつて、そのうち3万円をまず納めたいというときの優先充当税目の件なんです、私の考えというより、課全体というか、町の方針としまして、国保会計は独立採算制をとって</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>おりますので、できるのであれば国保に優先して入れるようにして、次に、余裕があれば町民税のほうに充当してやっております。</p> <p>それから、転入・転出者の滞納額の情報交換なんですけど、現在のところ、お互いに転入も転出も情報交換はしていない状況であります。</p> <p>以上です。</p> <p>平野委員。</p>
<p>平野敏彦委員</p>	<p>さすが税務課長だなというふうに、私だったら、まず自分のところの町民税を減らしていくというふうなのが基本的な考え方かなと思ったら、さすが徴収対策の適任者だなと評価します。</p> <p>この転入・転出についての情報がお互いがないというのは、例えば、プライバシーとかそういうふうなものもあろうかと思いますが、私は、ほかのほうで滞納して転入してきて、そのときに保険証というのは直ちに交付になるかどうかを確認したいと思うんです。</p> <p>例えば、滞納がいっぱいあるから転出をする。そういうふうな、ブラックリストに載るようなことを繰り返している町民もなきにしもあらずだというふうに声を聞いたものですから、前住地で国保20万円滞納して、保険を使えなくなっておいらせ町に来る。おいらせ町では来たときにすぐ新しい保険をもらって、医療機関を利用をするというふうなことも可能ではないかと私は思うんですが、これらがまたおいらせ町でたまれば、またほかに転出するというふうな方法がとられているのもあるのではないかな。</p> <p>そういうふうな意味では、私は少なくともお互いの各自治体がそういうふうな情報提供できるような仕組み、そういうふうなものも検討すべきだと思うんですが、これらについてちょっとお伺いしたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>環境保健課長。</p>
<p>環境保健課長 (小向道彦君)</p>	<p>現在の法令からいきますと、その町に滞納がなければ、その短期とか資格証というのは出せないような仕組みになっています。資格証明書は弁明の機会が設けられていますので、町の滞納がある程度たまった時点でそれを通告しまして、その機会を付与して、その後の交付ということになります。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>平野委員。</p>

平野敏彦委員	<p>今、私が聞いているのは、例えば、これは今現在そういうふうに滞納していれば、資格証明まで行くんだよというふうなことで聞いたんですが、前住地、例えば、転入する前のところで保険税が25万円なら25万円滞納してあったのが、おいらせ町に来たときにそのチェックが、前の住所地で保険税が25万円滞納になっているなというふうなのが確認できるのかということが1つと、前住地に滞納があっても、おいらせ町で住民登録をした際においらせ町では保険証を、前住地の滞納分が確認できないので、改めて保険証を交付するのか。この部分をもう一回お願いします。</p>
柏崎委員長	<p>環境保健課長。</p>
環境保健課長 (小向道彦君)	<p>お答えいたします。 確認についてはしておりません。 あと、保険証は通常の保険証になります。 以上です。</p>
柏崎委員長	<p>平野委員。</p>
平野敏彦委員	<p>わかりました。 なぜ私がそういうふうな質問をしたかといいますと、今言ったように、おいらせ町については非常に転入・転出が多いし、それに伴って、今、税務課長が言ったように3億7,600万円というふうな多額な滞納額があるわけです。 やはり、これらを解消するには、ただ単に税務のスタッフに、「頑張れ、県の滞納整理組合で委託して取ってくれ」というふうなことだけでは、私はなかなか容易でないと。お互いに、当町だけでなく、他の自治体もこの滞納の対策には苦慮しているわけですから、自治体間で情報ネットワークみたいなものを構築して、情報の共有をしながら滞納に当たっていくというふうな考えを、ぜひ私は町長も町村会とか、そういう会合の場でぜひ提案をして、滞納整理に当たるシステムの構築について、ぜひ提案をしていただきたいと思うので、町長から考え方をお聞きします。</p>
柏崎委員長	<p>町長。</p>
町長	<p>ただいま平野委員が提案していることはよくわかりますし、全くそのとおりだ</p>

<p>(成田 隆君)</p>	<p>など、今つくづく感じておりました。</p> <p>ただ、転入者が多いわけですがけれども、その追跡調査等をしていないので、しからばその方々がことしだけでなく、過去にもおいらせ町に入ってきた方々がどういう状況か、滞納しているのかしていないのかという、さかのぼってそういう調査もできればいいでしょうし、またやるべきかもしれませんが、なかなか今の状況ではそこまで手が回らないとしても、何とかピックアップして、全員でなくても、抜き打ちでも追跡調査をさかのぼってしてみますので、そういうことで、確かにこの人たちはおいらせ町をターゲットにしておいらせ町はそういう管理が手ぬるいなということで入ってきて、また病気を治したらまたよそに出ていこうというような感覚で住まわれると困るので、またそれは税の公平さにも反する行為だと思いますので、そういう部分を含めて調査してみたいと思いますし、また、町村会のほうでそういう提案をしなければならぬのであればしたいし、ただ、先ほども平野委員おっしゃっているように、個人情報云々という部分でどういう問題が生じるのかも含めながら、今後、勉強課題にはなるのかなという思いでありますので、勉強させてもらいたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>松林委員。</p>
<p>松林義光委員</p>	<p>今、平野委員の発言、提言、私は別に問題ありませんけれども、逆に、環境保健課長からお聞きしますけれども、逆にうちのほうから転出して、向こうのほうから、「おいらせ町から今転入してきたけれども、国保税滞納ありますか。あるとすればどのくらいありますか」と、個人情報もあるかと思います。そういうふうな問い合わせ来たときに、環境保健課長は、住民課長かな、わからないけれども、回答することができるんですか。回答しますか。逆に、問い合わせが来た場合に。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>税務課長。</p>
<p>税務課長 (松林光弘君)</p>	<p>今のは税金のほうの関係ですから、私から回答します。</p> <p>転出先からもそういう問い合わせ等は一切ございません。</p> <p>来た場合、教えることはありません。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>松林委員。</p>

松林義光委員	<p>本当に滞納がふえていますから、解決策として、平野委員の提言は私はすばらしいと思います。だけれども、そういうふうな回答ができないとすれば、そういうふうにはっきり言わないと、やはり、お互い様、向こうから来てうちのほうも回答できませんよということでしょう。</p>
柏崎委員長	<p>税務課長。</p>
<p>税務課長 (松林光弘君)</p>	<p>今の国民健康保険税法によればできないということで、多分、平野委員は、町長にそういう機会があったら町村会なり、県・国のほうでそういう会議等があったら提言をしていただければ、安易に変わることもないかと思いますが、そういうふうに改正できるのであれば全国一律で情報交換できる、また将来的な話ですが、滞納についてもマイナンバー制度を活用してそういうこともできるのかも知れませんが、そういう機会があったらお話ししていただければということではなかったかと理解しております。</p> <p>以上です。</p>
柏崎委員長	<p>次に、馬場委員。</p>
馬場正治委員	<p>今の滞納に対する徴収活動としては、おいらせ町はその町村会の滞納整理組合ですか、そちらのほうに委託するだけなんでしょうか。町独自で追跡徴収というふうなことはしていないのかどうか。</p> <p>八戸市あたりでは、収納課単独で数人のチームを組んで、関東方面2泊3日とか3泊3日で転出先を訪ねて納付を督促するという活動をしているようですが、当町の実態はどうでしょうか。</p>
柏崎委員長	<p>税務課長。</p>
<p>税務課長 (松林光弘君)</p>	<p>当町においては、町外、県外においての追跡調査はしてありませんが、町内においては余り反応がないとか、悪質、高額な場合は追跡調査をして滞納整理に当たっているところであります。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>ほかに質疑ございませんか。</p>
柏崎委員長	<p>なしと認め、歳入全款についての質疑を終わります。</p>

なしの声

<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>次に、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>11ページから23ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第29号、平成25年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>学務課長。</p>
<p>学務課長 (堤 克人君)</p>	<p>それでは、議案第29号についてご説明を申し上げます。</p> <p>なお、本事業は、奨学資金の貸し付けを通して、有能な人材の育成を図るために運営しているものでありますが、平成25年度事業といたしまして編成しました予算の総額は、前年度比2%減の歳入歳出それぞれ1,813万6,000円となりました。</p> <p>その主な内容についてでございますが、歳入におきましては、貸付金収入としまして986万1,000円、基金繰入金としまして813万9,000円で、このほか一般会計の繰入金、利子及び配当金をそれぞれ8万1,000円、5万3,000円を見込んでおります。</p> <p>歳出については、その大宗をなす奨学資金貸付金としまして1,800万円を計上しております。貸与月額は、昨年度と同様、大学生4万円、短期大学・専門学校生3万円、高校生1万5,000円であります。</p>

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第30号、平成25年度おいらせ町公共下水道事業特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>地域整備課長。</p>
<p>地域整備課長 (中村恵一君)</p>	<p>それでは、議案第30号についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、予算の総額を、歳入歳出それぞれ10億2,657万1,000円とし、前年度比2.3%の増とするものであります。</p> <p>歳出の主な内容につきましては、馬淵川流域下水道維持管理負担金を1億1,215万6,000円、下水道整備工事費を7,596万6,000円とし、今年度は、阿光坊、有楽町地区などを整備するものです。</p> <p>また、町債償還金は7億5,643万3,000円となり、前年度比7.2%の増となっております。</p>

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>歳入では、受益者分担金及び負担金を501万円、下水道使用料を1億2,890万円、国庫補助金を1,500万円、一般会計からの繰入金を5億8,154万5,000円、下水道事業債に2億9,600万円などを計上しております。</p> <p>また、第2表、地方債につきましては、起債の限度額、方法、利率、償還方法について定めるものであります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入全款についての質疑を行います。</p> <p>41ページから44ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>45ページから49ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、第2表、地方債についての質疑を行います。</p> <p>議案書の153ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、第2表についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>次に、議案第31号、平成25年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>地域整備課長。</p>
<p>地域整備課長 (中村恵一君)</p>	<p>それでは、議案第31号についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億1,639万5,000円とし、前年度比3.3%の増とするものであります。</p> <p>歳出の主な内容につきましては、古間木山地区農業集落排水污水处理施設及び管路施設の維持管理費2,290万1,000円、町債償還金は8,358万8,000円となり、前年度比4%の増となっております。</p> <p>歳入では、下水道使用料を2,650万1,000円、一般会計からの繰入金金を6,730万円、町債償還金に2,230万円を計上しております。</p> <p>また、第2表、地方債につきましては、起債の限度額、方法、利率、償還方法について定めるものであります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>61ページから67ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、歳入、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、第2表、地方債についての質疑を行います。</p> <p>議案書の157ページでございます。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、第2表についての質疑を終わります。</p> <p>以上で、本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p>

<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第32号、平成25年度おいらせ町介護保険特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>介護福祉課長。</p>
<p>介護福祉課長 (澤上 訓君)</p>	<p>それでは、議案第32号についてご説明申し上げます。</p> <p>編成いたしました予算の総額は、歳入歳出それぞれ18億4,847万1,000円となり、前年度比0.2%の増となっております。</p> <p>初めに、歳出の主なものについてご説明いたしますので、事項別明細書86ページをお開き願います。</p> <p>1款1項、総務管理費には、職員9名の人件費等を計上しております。</p> <p>87ページ、1款2項、徴収費には賦課徴収に係る経費を計上しております。</p> <p>88ページ、1款3項、介護認定審査会費には広域事務組合負担金のほか、主治医意見書作成手数料等を計上しています。</p> <p>89ページ、1款4項、介護予防支援事業費には、予防給付ケアプラン作成臨時職員2名分の賃金と介護予防支援業務委託料等を計上しております。</p> <p>1款5項、地域密着型サービス運営委員会費には、委員の報酬と費用弁償を計上しております。</p> <p>90ページ、1款6項、計画等策定委員会費には、第5期介護保険計画における事業進捗状況の報告を行うため、委員の謝礼金を計上しております。</p> <p>90ページから91ページ、2款1項、介護サービス等諸費は15億6,605万8,000円となり、前年度比0.3%の減となっています。主なものは、要介護者に対する居宅介護サービス及び地域密着型介護サービス等々に係る給付費を計上しています。</p> <p>91ページから92ページ、2款2項、介護予防サービス等諸費には、要支援</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>者に対する予防サービス等々に係る給付費を計上しています。2款3項、その他諸費には、介護保険給付費審査支払い業務の手数料を計上しております。</p> <p>93ページ、2款4項、高額介護サービス等費は、利用者負担上限額を超えた場合に支給されるものであります。2款5項、高額医療合算介護サービス費は、医療費、介護費の自己負担が高額となり、限度額を超えた場合に支給されるものであります。</p> <p>94ページ、2款6項、特定入所者介護サービス等費は、低所得者の施設入所に際し、食費、居住費が一定額を超えた場合に支給されるものであります。</p> <p>94ページから95ページですが、3款1項、介護予防事業費には、二次予防、高齢者及び一般高齢者を対象に実施する介護予防事業等に係る経費を計上しています。</p> <p>96ページから97ページですが、3款2項、包括的支援事業・任意事業費には、地域包括支援センター業務に係る経費を計上しています。</p> <p>4款1項、基金積立金には、介護給付費に要する費用に充てるため積み立てている基金の運用利子を積み立てするために予算計上したものでございます。</p> <p>続きまして、歳入の主なものについてご説明いたします。</p> <p>79ページをお開き願います。</p> <p>1款1項、介護保険料は、65歳以上の第1号被保険者の保険料であります。</p> <p>3款1項、国庫負担金は、介護給付費及び予防給付費に対する国の負担分であります。</p> <p>80ページ、3款2項、国庫補助金は、市町村間の保険料水準の格差を是正するため交付される調整交付金等であります。</p> <p>4款1項、支払基金交付金は、40歳以上65歳未満の第2号被保険者の介護保険料負担分として交付されるものであります。</p> <p>81ページ、5款1項、県負担金は、介護給付費及び予防給付費に対する県の負担分であります。5款2項、県補助金は、介護予防事業と包括的支援事業・任意事業に対する補助金であります。</p> <p>83ページ、7款1項、一般会計繰入金は、介護給付費及び予防給付費等に対する町の負担分のほか、職員の人件費等であります。</p> <p>85ページ、9款2項、雑入は、介護予防ケアプラン作成分の介護報酬であります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p>
--------------	---

<p>馬場正治委員</p>	<p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入全款についての質疑を行います。</p> <p>79ページから85ページでございます。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p>馬場委員。</p> <p>介護に関しては、現在、社会福祉協議会の方に委託されています介護予防事業の中で、各町内会に委託して行っているいきいきサロンというものがあります。</p> <p>年1回、5回、10回と、それぞれ8,000円、4万円、8万円が助成金として社会福祉協議会から事業実施町内会へ支給されておりますけれども、三田町内会の例を言いますと、町内会のほうでおよそ50%負担して事業をやっているわけです。年間5回の実施に対して、社会福祉協議会から4万円の助成金をいただいておりますけれども、やはり、事業の内容等、参加者にご満足いただけるようなメニューということになりますと4万円では到底できませんので、参加者の人数等もありますけれども、それと、その事業を実施してくださる地域のボランティアの方々に対しても、年1回ぐらいは慰労をしていただかなければならないので、そういった意味の町内会負担もあるわけですが、その助成費について、もう少し増額ということは検討いただけないものでしょうか。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>介護福祉課長。</p>
<p>介護福祉課長 (澤上 訓君)</p>	<p>馬場委員にお答え申し上げます。</p> <p>平成25年度の予算では、前年度同様の1回8,000円ですか、そういう予算の計上をしておりますけれども、予算の、例えば何%上げるとか、そういったものを検討するには少し時間が必要なのかなと。また、それぞれところによっては参加してくれているお年寄りから100円とか、そういうのをもらいながらやっているところもあるんですけども、その辺のところをいろいろ全体でこれぐらいのものが行われているというような内容を少し吟味して、今後、じゃどうするかというふうなことを検討していきたいなと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>馬場委員。</p>
<p>馬場正治委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、課長おっしゃったように、事業は年10回行っている町内会もあるんです</p>

	<p>けれども、その実施報告書、毎年、社会福祉協議会からその実施結果のようなものが、いわゆる福祉協力員となっている町内会長のほうに報告書が届きます。それを見ますと、年10回実施していても、毎回集会所に集まって、ただお菓子食って、お茶っこ飲んで、世間話をして、お昼食べて解散。10回ともほとんど同じメニューという事業もあるんですね。</p> <p>毎回、メニューを変えて、町の借り上げバスを使って日帰りで温泉に行くとかあるいは出前講座を利用して体を動かす、あるいは健康チェックをする、そういうふうなメニューに工夫しているところもあるわけです。年10回実施して8万円いただいて、ほとんど集会所から出ない、ただ月1回集会所に集まって顔合わせして、ご飯食べて帰るといような事業。それぞれ評価はあろうと思いますけれども、今、時間がかかるとおっしゃいましたけれども、前向きなご答弁と受けとめましたので、ぜひその辺をよくレビューしていただきまして、よりいいサロンにおいらせ町が成長していくような方策をお願いできればと思います。</p> <p>以上、要望して終わりたいと思います。</p>
柏崎委員長	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p>平野委員。</p>
平野敏彦委員	<p>86ページの給料のところですが、一般職9人分とあります。この給与の明細を見ますと、9名のうち行政職が7名、これは101ページですが、医療職2名というふうな形で構成されております。</p> <p>これは保健師かなと思うんですけども……</p>
柏崎委員長	<p>平野委員、今、歳入全款について質疑を受けておりますので。</p> <p>ほかにごございませんか。</p>
(委員席)	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
柏崎委員長	<p>なしと認め、歳入全款についての質疑を終わります。</p> <p>次に、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>平野委員。</p>
平野敏彦委員	<p>改めて。</p> <p>86ページの一般職、給与が9人となっております、101ページで見ますと、その構成が、行政職が7名、医療職2名というふうな形で。私は課に行ってみて保健師さんかなと思ったら、どういうふうなこの医療職2名というのは職種なのか、ちょっとここをお知らせいただきたいと思います。</p>

柏崎委員長	介護福祉課長。
介護福祉課長 (澤上 訓君)	その2名につきましては、保健師2人というふうなことになるかと思えます。 包括に……、すみません、包括におります、今現在補佐している者が1名、それから、介護予防のほうを中心に仕事をしていただいている保健師1名と、この2名です。(「了解」の声あり)
柏崎委員長	ほかに質疑ございませんか。 檜山委員。
檜山 忠委員	91ページの2款の保険給付費のところですね。介護サービスのところなんですけど、項目2、3、地域密着型、それから施設介護サービスというふうなことで、前に私、介護保険料について質問したことがありますけれども、そのときのお話では、地域密着型がふえていけば介護保険料は安くなっていくというふうなことのそれらの話があったような気がするんですが、それは関係ございませんか。
柏崎委員長	介護福祉課長。
介護福祉課長 (澤上 訓君)	檜山委員にお答え申し上げます。 給付費は、かかればかかるほど介護保険料等に影響がいきます。今の地域密着型なんですけれども、この地域密着型というのは、おいらせ町の被保険者で、要は介護保険料を払っている方、その方々が入る、例えば、今現在あるのは、特別養護の中では阿光坊の里、それからグループホーム、認知症対応型の共同生活介護、この2組になっております。
柏崎委員長	檜山委員。
檜山 忠委員	介護等のそれを勘違いして話をしているのかもしれませんが。 在宅介護がじゃ多くなって、そういうふうな施設に入る人が少なくなると介護保険料が安くなっていくと考えればいいんですか。それともまた関係ないんですか。
柏崎委員長	介護福祉課長。

<p>介護福祉課長 (澤上 訓君)</p>	<p>介護保険料に影響されるものというのは、いわゆるサービスを受ける数が多い、要は給付費がふえていくことが影響を受けますので、居宅であるとか施設であるとかというのは、それはまた別です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>檜山委員。</p>
<p>檜山 忠委員</p>	<p>それはわかります。全部がふえていくのであれば、これはおのずと介護保険料も高くなるのはわかるんですけども、ただその比率があると思うんですね。施設に支払うよりは在宅、居宅介護を受けていると安く上がるのではないかなと思うことから話をしているんですけども、どうですか。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>介護福祉課長。</p>
<p>介護福祉課長 (澤上 訓君)</p>	<p>施設の場合は、もう絶対数が決まっていますので、居宅の場合はもう無数にふえていくわけですね。認定されれば、例えば、サービスを受けるというのができますので、それは無数にふえていきます。</p> <p>でも、施設そのものは少ないものですので、国としては、どちらかといえば居宅のほうをどんどん進めなさいというふうな指導であります。</p> <p>今回の場合も、施設を使っている、実際には、1人分で比較すれば施設のほうが確かに高いということになるかと思えます。</p> <p>以上です。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>檜山委員。</p>
<p>檜山 忠委員</p>	<p>わかりました。要は、今現在を考えたら、施設に入っている人が自宅で介護してもらったほうが安くはつくんだということですね。わかりました。そっちが、どっちかというところから施設を多く建てていくよりは、自宅で介護してもらったほうがいいんだということですね。</p> <p>じゃ居宅で介護してもらえるとというふうなことになる、何かその居宅で介護してもらう人にとって、得になることといたらいかな、そういうふうなことの特別なそれは何もないのですか。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>介護福祉課長。</p>

<p>介護福祉課長 (澤上 訓君)</p>	<p>居宅でサービスを受けるというのは、得とか何とかという言葉が果たしていいのかわからないんですけども、もちろん通所、デイサービスという、そういう通所サービスとか、それから、ヘルパーの派遣とか、そういったサービスを受けていけば、結局はそれなりに給付費がふえていきますので、全く町のそういうサービスを使わないで、その家庭のどなたかが一生懸命努力して介護しているというのであれば、年間わずかでありませけれども、10万円の奨励金を差し上げるといようなことで、条例にも載せてあります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>檜山委員。</p>
<p>檜山 忠委員</p>	<p>わかりました。居宅で家族が介護すれば、それなりの報償金というか、そういうものが出ているということなんです。それらのどういうふうな形でのサービスになっているのかというのがよくわからなかったもので、そうしないと家族だけが負担を多く受けることになって、皆施設に入れたほうが家族にとってはいいというふうにはばかり考えてしまうので、居宅でもその苦労をした分は報われる、そういうふうな形にはなりますよというふうなことを教えていただければと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>介護福祉課長。</p>
<p>介護福祉課長 (澤上 訓君)</p>	<p>すいません。私、言葉足らずだったです。 介護度4以上の方ということになります。その奨励金の場合は。そういう規約がございますので。 あとの3、2、1について、あとは要支援1、2、この方々については、特にそういうものはございません。「わかりました」の声あり)</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>ほかに質疑ございませんか。 **なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、歳出全款についての質疑を終わります。 以上で、本案についての質疑を終わります。 これから討論を行います。 討論ありませんか。 **なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。 お諮りいたします。</p>

<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>ここで昼食のため休憩をいたします。午後1時30分まで。</p> <p style="text-align: right;">(休憩 午後00時01分)</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>休憩を取り消し、会議を再開いたします。</p> <p style="text-align: right;">(再開 午後 1時29分)</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第33号、平成25年度おいらせ町公共用地取得事業特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>企画課長。</p>
<p>企画課長 (田中富栄君)</p>	<p>それでは、議案第33号についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、歳入歳出予算の総額を、それぞれ4,150万1,000円とするものであり、前年度比3.7%の増となっております。</p> <p>その予算の主な内容ですが、歳出においては、事業費として、洋光台団地の定住促進助成金など合わせて567万8,000円、公債費に町償還金経費として3,582万3,000円を計上しており、それらを賄う経費として、歳入は一般会計から4,150万円の繰入金を計上しております。</p> <p>なお、現在の未処分区画は10区画となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>107ページから108ページでございます。</p>
<p>(委員席)</p> <p>柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>質疑なしと認め、歳入、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p>

<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p>討論ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第34号、平成25年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>環境保健課長。</p>
<p>環境保健課長 (小向道彦君)</p>	<p>それでは、議案第34号についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、歳入歳出それぞれ1億4,365万1,000円と定めるもので、前年度比2.0%の増となっております。</p> <p>歳出の主な内容につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金で1億4,211万3,000円の計上であります。これは、広域連合共通経費負担金、保険基盤安定負担金、保険料負担金等であります。</p> <p>歳入の主な内容につきましては、保険料の8,573万5,000円と、一般会計繰入金の5,767万3,000円であります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>これから質疑を行います。</p> <p>質疑は、事項別明細書により行います。</p> <p>第1表、歳入歳出予算のうち、歳入、歳出全款についての質疑を行います。</p> <p>113ページから118ページでございます。</p>
<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>質疑なしと認め、歳入、歳出全款についての質疑を終わります。</p> <p>以上で本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p>

<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、討論を終わります。 お諮りいたします。 本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p>
<p>(委員席) 柏崎委員長</p>	<p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>異議なしと認めます。 よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>次に、議案第35号、平成25年度おいらせ町病院事業会計予算についてを議題といたします。 当局の説明を求めます。 病院事務長。</p>
<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>それでは、議案第35号についてご説明申し上げます。 編成いたしました本年度の業務予定量のうち、年間延べ患者数の入院では2万200人、外来では4万1,400人を、1日平均患者数では、入院で55.3人、外来では169人を見込んだ結果、第3条の収益的収入及び支出の予定額を9億4,082万7,000円に、医療機械等購入費ほか電気室改修費を見込みました第4条の資本的支出の予定額を7,418万円とし、収入額が支出額に対して不足する額2,170万8,000円は、当年度分損益勘定留保資金で補填することとし、第5条では、医療機械購入に係る起債の目的、限度額等を定めるものであります。 また、第10条の重要な資産の取得及び処分では、医療機械の生化学自動分析装置及び医療事務システムの購入を予定しております。 なお、予算案の作成に当たりましては、去る3月1日に開催されました病院運営審議会において原案のとおり承認いただいていることを申し添えます。 以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>説明が終了いたしました。 これから質疑を行います。 本案については、議案書と予算実施計画により、一括で質疑を行います。 実施計画の123ページから141ページ、議案書の169ページから171</p>

松林義光委員	<p>ページでございます。</p> <p>松林委員。</p> <p>今病院の局長から説明を受けましたけれども、収入、入院の患者見込み2万2000人、そして、外来4万1,400人。あの補正の予算審議で、多分平野委員だったと思いますけれども、質問に、患者数が減っているというふうな話があったと思います。</p> <p>そして、あの補正が5億3,200万円余り、そして、今回の当初予算5億6,500万円余り、私の計算が間違いなければ3,300万円余りふえていると。外来も収入がふえておりますけれども、この根拠は、補正では実績に基づいて5億3,000万円余りだと思います。当初予算で5億6,500万円余り、この見通し、根拠はどこから来ているのかお伺いいたします。</p> <p>それから、医師の充足率は今現在で何%になっているのか。</p> <p>まずその2点をお伺いしたいと思います。</p>
柏崎委員長	<p>病院事務長。</p>
<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>それではお答えいたします。</p> <p>補正予算書との入院収益等の違いでございますが、当初予算を編成した時点では12月から1月にかけて数値等を参考にして、前年等の実績等も踏まえまして、その患者数、それから1日1人当たりの医療費、これらを参考にして当初予算を編成しております。</p> <p>それで、今年度、平成24年度につきましては、入院患者数が減ってきております。それで、補正予算のほうにはその実績等に基づいて補正予算を組んだわけでございますが、この見込みといたしましては、病床利用率が70%ぐらいだということで積算しておりますが、当初予算につきましては、平成23年度の実績が74%という病床利用率でございますので、それら等も含めて検討しました結果、72%ぐらいの人数で入院収益を算出しております。</p> <p>それから、医師の充足率でございますけれども、医師の標準数、これは平成24年度の標準数でございますが、これが7.451%となっております。そして、当院の医師数でございますけれども、常勤の医師6名と非常勤の医師を合わせまして6.837人となっております。申しわけございません。医師の標準数が7.451人でございます。そして、当院の医師数は6.837人。充足率といたしましては91.759%となっております。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>

<p>柏崎委員長</p>	<p>松林委員。</p>
<p>松林義光委員</p>	<p>平成23年度の実績等々、73%ですか、その数字上げていましたけれども、三沢市民病院、今あの田んぼのど真ん中に立派な道路をつくって環境づくりをしております。</p> <p>そして、話によりますと、三沢市民病院、名医がいると。なかなか今評判がよくなってきているようであります。</p> <p>逆に、事実かどうかわかりませんが、おいらせ病院、余りいい話が私のところには聞こえてはきません。ということ等々考えますと、この入院患者、3,300万円余り、本当にふえるのかなと、私は懸念をしております。実績に基づいて予算計上したほうが私はベターなのかなと思いますけれども、間違いなくこの5億6,500万円余り、収入が入ってきますよという自信のある予算書なのか、もう一度お伺いしたいと思います。</p> <p>それから、町長にお伺いしますけれども、今、充足率7.451に対して、当おいらせ病院は6.83、91.75%、まあまあの数字かなと思いますけれども、先ほどお話ししましたとおり、三沢市民病院、私だけかもしれませんが、近年、評判がよくなってきていると、こう思っております。加えて、環境づくりも今やっているようであります。</p> <p>それに比べておいらせ病院、私は決して場所はよくないと、今の病院の場所がよくない場所なのかなとも思っております。前の三村町長に「病院をリフォームするよりは、病院を移転して、病院を核としてまちづくりを進めてはどうですか」と提言しました。財政の関係もありまして、「それはなかなか厳しいですよ」ということで、2億円、3億円をかけてリフォームをやったわけであります。</p> <p>病院の運営、要するに患者が減ってきますと、病院の先生の手当・報酬は年々上がるかわからないと思います。赤字になりますと、一般財源からの繰り越しをしなければならないということも考えられます。</p> <p>この数字を見て、私は心配しておりますけれども、町長の考えも、これからの先生の確保、やはり、おいらせ病院はこのような治療をするんだと、おいらせ病院に行くとこの病気は治るんだというふうなことがあれば、私は心配ないと思いますけれども、何か余りいい話が聞こえてきませんので、病院づくり、病院の運営について、町長の考えもひとつお伺いしたいと思います。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>病院事務長。</p>

<p>病院事務長 (山崎悠治君)</p>	<p>それではお答えいたします。</p> <p>この収入が、実際に見込めるかということでございますが、国で、公立病院のほうに策定を求めました病院改革プランというものがございまして、それによりますと、病床利用率が70%を切るような病院は診療所化とか、そういうふうなものを検討してもらおうというふうな内容のものでございました。</p> <p>それはそれとしながらも、やはり、病院をある程度の黒字でもって経営していくためには、やはり、我々も病床利用率は70%以上を確保したいなという思いでございます。</p> <p>今年度、平成24年度につきましては、それがかなわないような状況になってきてはおりますけれども、来年度以降、先生方あるいは病院のスタッフも含めまして、この病床利用率が上がるように対応等をしていきたいと考えておりますので、どうぞご理解いただきたいと思っております。</p> <p>それから、三沢市民病院のほうには、名医がたくさんいるということで、当院のほうには余りいい話が聞こえてこないということではございますが、これまでで幾度となくうちのほうの病院で検査していろんなことをやりまして、がんとかいろんな病気を発見してそれに対応するような手術をできるような医師は確保されているわけなんでございますけれども、どうしてもネームバリューというんでしょうか、そういうふうな大きい大病院志向というものが患者にありまして、当院で実際は手術できて十分治せることなんでございますけれども、実態としては、八戸の市民病院とか、あるいは三沢の市民病院のほうに行って治療される患者がいるということがまま起きております。</p> <p>それが、医師の働く意欲の低下にもつながっているものと思っておりますし、先生方も非常に残念に言っていることが実態でありますので、その辺も評判をとれるように、またこれからも医師ともどもに頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>町長。</p>
<p>町長 (成田 隆君)</p>	<p>松林委員の心配される部分ですね。病院の運営がどうなるのかということですが、先ほども事務長のほうから答弁ありましたとおり、医師の充足率は100%に近いということですし、また私もこれからのことを考えて新しい医師を探すには、病院の院長と一緒に弘前大学にも2回ばかり行っています。</p> <p>その中で、今のところはまだ医師配属できないんですけれども、将来的には県の政策、そういう部分で医師はだんだん多くなるから、近い将来にはそんなに心</p>

配なく医師は行き渡るのではないのかなという弘大の医学部の先生がそういう話をしておりましたけれども、今、じゃ、しからばそのまま行ってという部分で、院長先生も結構歳もいっているということで、早くかわりの医師あるいは院長先生は院長先生として残ってもらっても、また新しい医師も確保したいなという思いもしておりますので、そういう部分では努力していかなければならないという思いは委員と同じです。

また、先ほど事務長が言ったように、本当に残念な部分は、院長先生が言う、「うちのほうで発見されると、手術はさせないでよその大きい病院に行ってしまうんですよ」ということですね。「我々は治せるし、よその大きい病院の大学出たばかりの人たちよりは我々経験もあるし、腕も確かなんだけれども、やはり大きい病院に行くという心理、どういうことかな」という思いで残念がっていましたが、緊急事態でも発生した場合、やはり、おいらせ病院よりは設備等が整っている部分もあるのかなという思いもしておりますけれども、腕は負けていないという先生方の誇りがあるようですから、そういう部分で、何とか発見したらそこで手術させるように努力しなければならぬでしょうし、また、先日の病院運営審議会でも、今、松林委員おっしゃったように、本当にお客さん、今までどおり来てくれるのか、何か対策は考えたほうがいいのかという議論もされたようですけれども、例えば、バスを、「よその民間の病院だと専用のバスを無料で出しているよ、そういうことをしたらどうですか」というようなアイデアも出ています。ただ、そこまでうちのほうではそういう結論的に、「じゃすぐまねしましょう」という結論は出せなかったんですけれども、いろんな審議会等でもこのままではだめでないのかという心配される話もありますし、また、もし先生の部分で批判的なご意見もあったとすれば、先ほども言いましたように、しからばその批判されるような先生方を注意し、あるいはまた、それであればここからじゃよそへ行くよというようなことになってもまた困るので、大変難しい対応を考えざるを得ないので、部外者の私が、幾ら開設者とは申せ、病院の内部に行って、先生方、看護師さん方にこうだよ、ああだよ、批判があるよというのは差し控えていったほうがいいのかという、あくまでも病院の経営は院長、そして事務長にお任せしたほうがいいのかという部分もありますので、開設者は開設者として責任はありますけれども、余り経営運営にまで口出ししないほうがいいのかという、自分なりにはそういう考えで対応しておりますので。

ただ、新しい病院はしからばどうするんだということは、今後、この場で言うていいかわかりません。あの場所は大きい津波が来れば浸水地域にもなりますので、将来的に建てかえとなればあの場所は移転してもいいかもしれませんけれども、その移転計画とか建てかえ計画もまだないもので、そういう部分で

<p>柏崎委員長</p>	<p>近々にどうしますということは言えないので、とりあえず使える分は今のまま使っていていかに得ないのかなという思いをしております。</p> <p>以上です。</p> <p>松林委員。</p>
<p>松林義光委員</p>	<p>私は、やはり病院の運営を心配しての質問であります。なぜかという、補正でかなり、3,600万円余り減額しております。ということは、もう入院患者がおいらせ病院に入院したくなったということだと思います。そして、先ほど申し上げたとおり、事実かどうかわかりません。うわさかどうかわかりませんが、三沢の市民病院、なかなか評判がよくなってきているという話であります。</p> <p>おいらせ病院、先生方もスタッフも頑張っていると思います。けれども、がんを発見しても手術をする腕のいい、能力のある先生がおっても、要するに名前負けして、おいらせ病院では手術はしないと、この町長、病院事務長の話であります。まことに残念なことだと思います。できればおいらせ病院で手術ができるように、頑張ってもらって、実現ができればいいかと、こう思っております。</p> <p>いずれにしても、事務長は、過去のデータからいって、当初予算見込んだこの金額は、収入入ってきますよと。5億8,000万円余りですか。この金が入ってきますよという力強い話でありますので、信用したいと、こう思います。</p> <p>先生方、スタッフの頑張りを期待して、健全な病院運営ができるようお願いをしたいと思います。</p> <p>答弁はいいです。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>ほかに質疑ございませんか。</p> <p>平野委員。</p>
<p>平野敏彦委員</p>	<p>私は、今、松林委員も質問しましたがけれども、病院経営について質問したいと思います。</p> <p>町長の施策の中に、この基本方針の5に、おいらせ病院に今年度導入した最新型の消化管電子内視鏡システムとX線CT装置を本格稼働させ、そしてまた精度の高い医療を提供してと書いてありますけれども、この予算の中で見ますと、140ページには医療機械等購入費3,203万7,000円、それから、生化学自動分析装置が1,102万5,000円、医療事務システムについては、これは同じ機械でも診療にかかわるものではないと思います。合わせれば、これはCT装置を購入する計画になっているのかなというふうな部分がまず一つ。これと</p>

	<p>予算書のかかわりがどうなのかなというふうな、こっちのほうの主要施策ではそういうふうになっているんだけど、買うほうの予算にはこのCTが載っていないわけです。だから、このところ、まず一つお知らせをいただきたいと思います。</p> <p>それから、これらの医療機械が充足されても、私は今、松林委員が言ったような形で病院での手術がなかなか行われないというふうなことについては、宝の持ち腐れではないかと。私はこの機械、それから手術室関係については、例えば、個人病院とかそういうふうな部分についても場所の提供、医療機械の使用を病院のほうと契約するような形でさせたらどうか。それによって、機械の効率的な活用が図られると同時に、先生方のドクターの交流がなされることによって、入院患者の増にもつながるのではないかというふうに感じております。</p> <p>この2点についてお伺いしたいと思います。</p>
柏崎委員長	病院事務長。
病院事務長 (山崎悠治君)	<p>それでは、ただいまのご質問にお答えしたいと思います。</p> <p>まず、1点目の所信表明に書いてある内視鏡とかCTが予算に盛り込まれていないのではないかという話なんです、これは平成24年度、今年度の購入機器でございます。内視鏡につきましては、2月に納品・納入されておまして、CTにつきましては、今月末に設置して稼働できるという状況でございます。それで、本格稼働というのが平成25年度からという意味で所信表明のほうに載せてございました。</p> <p>2つ目の医療機器とか、それから手術室の開放でございますけれども、こういうせっかくの高度医療機器でございますし、今度、設置しますCTも64チャンネルの非常に精度の高い医療機器でございます。これらの医療機器とか手術室等の病院の一部の開放でございますけれども、これは他の病院で開放しているということも実際としてはありますので、それらの実態を調査等いたしまして、平野委員言われましたように、幾らでも収入の増につながるよう、院長、それから病院のスタッフ等々の協議を重ねて検討していきたいと思っておりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
柏崎委員長	平野委員。
平野敏彦委員	事務長には今の質問の内容が理解されているなというふうに感じます。

<p>柏崎委員長</p>	<p>この機械の投資したものの有効活用をやはり図っていくというふうなことについては、私は従来の自前だけじゃなくて、いろんな意味で連携をとってやることも可能ではないかなと。特に、町内の個人開業医のみならず、町外でも利用したいというふうな個人病院で結構そういうふうなドクターもおりますので、町内のみならず町外へも、いろんな形で場所の提供、機械の利用、そういうふうなものをドクター同士で横の連携をとって情報交換をしながら取り組むのも一つの方法かと思っておりますし、もう一つは、このCT装置等については、町民検診等での活用もできないのかなというふうな思いであります。こういうふうなことによって、早期の疾病を発見し、予防が可能になりますし、これが医療費を抑える一つのいい意味でのCT装置の活用にもつながればと思っておりますので、これらについては、ぜひ検討していただきたいと思っております。</p> <p>以上で終わります。</p> <p>答弁を求めます。</p> <p>病院事務長。</p>
<p>病院事務長</p>	<p>それでは、ただいまのご質問にお答えしたいと思います。</p> <p>今言われましたように町内あるいは町外の開業医、病院等でも、利用したいという声があるということでございますので、先ほども申し上げましたように、その実態あるいは利用形態等も調査しまして、開放できるものはどんどん開放して、利用増につなげていきたいと思っております。</p> <p>それから、CT等の町民検診への活用ということでございますが、その件につきましては、町民検診そのものを私どものほうでは受けることは受けませんが、CTを活用した検診項目というのがどのようなものがあるかというのは、ちょっと私そこまではよく承知してございませんので、仮にそういうことが検診として認められあるいは項目に加えられるのであれば、どんどんその利用率を上げるためにも活用していければと思っております。</p> <p>以上で終わります。</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>ほかに質疑ございますか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長 (委員席)</p>	<p>なしと認め、本案についての質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>

<p>柏崎委員長</p> <p>(委員席)</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>本案は、原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は原案のとおり可決すべき旨、本会議において報告することに決しました。</p> <p>以上で、予算特別委員会に付託されました議案第27号から議案第35号までの9議案の審査はすべて終了いたしました。</p> <p>これで会議を閉じます。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>予算特別委員長として、皆様に一言、お礼を申し上げます。</p> <p>予算特別委員会の議案の審査と議事進行につきましては、委員各位の特段のご協力によりまして、無事、終了することができました。</p> <p>心から御礼を申し上げます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
<p>柏崎委員長</p>	<p>以上をもちまして、予算特別委員会を閉会といたします。</p>
<p>事務局長</p> <p>(袴田光雄君)</p>	<p>修礼を行いますので、ご起立願います。</p> <p>礼。</p> <p style="text-align: right;">(閉会時刻 午後 2時04分)</p>

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

予算特別委員長.....

予算特別副委員長.....